

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2660地区



ウィークリー 2024-25



創 立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長：紙谷幸弘 幹事：清水良寛 クラブ会報委員長：合田 昇

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会	次回の例会
第1959回例会 令和7年3月24日 今週の歌 「ロータリーって何だろう」 卓 話 「日本の生活を振り返って」 米山記念奨学生 宋 俊秀 (ソン ジュンス) 様	第1960回例会 令和7年3月31日 今週の歌 「四つのテスト」 春の移動家族例会

45th VAMOS! さあ~いこう！ 新たな時代に向かって

会長挨拶

紙谷会長



本日はパリパラリンピック柔道の金メダリストの瀬戸勇次郎様をお迎えし卓話をしていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

皆様のご協力により、当クラブの創立45周年記念講演会におきまして第1回目の矢野元阪神監督の講演、第2回目の先週行われたケーシー橋本氏の講演も大盛況で、いずれも予定を上回る参加者にお集まりいただいた会となりました。講演内容も、矢野様は筋ジストロフィー患者への応援、電動車いすの支援、橋本様はカンボジアを中心とした途上国への音楽教育と楽器贈呈支援と、いずれの講演もロータリーの目的である奉仕の理念に合致した内容で、ご参加いただいた皆様へ

は、ロータリー活動の説明には、正にタイムリーな内容であったと思います。

そして、次なる節目として迎えるのが、当クラブ創立45周年の記念例会になります。また50周年に向けて半世紀という大きな節目を、盛大に祝うためには、今からの5年間の期間が重要となります。そのためにも、まずは会員相互の親睦をさらに深め、結束力を高めることが不可欠です。

さらに、クラブの活性化を図るために、会員増強にも努め、新たな仲間を迎え入れながら、より多くの方々と共に奉仕の輪を広げていきたいと考えています。そのためにも4月28日の例会では会員増強例会となっておりますので動員の程よろしくお願い致します。

次に献血についてお話し致します。国内では、16~69歳が対象になっておりますが、少子高齢化等の影響により、主に輸血を必要とする高齢者層が増加し、若い世代が減少しています。10代から30代の献血者の数は、この10年で約25%（2014年度：約215万人から2023年度：約162万人）にも減少しており、献血可能人口が減少し続けるそうです。

若い世代の方々からの協力が得られなくなると、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。我々も微力ではありますが、少しでも協力していければと思います。

ゲスト紹介 親睦活動委員会 村上委員

本日はゲストスピーカーとしてパリパラリンピック男子柔道73kg級 金メダリスト 瀬戸勇次郎様にご参加いただいています。本日の卓話をよろしくお願いいたします。

幹事報告 清水(良)幹事

1. 来週の例会には、上本ガバナー補佐が訪問される予定です。

2. ポリオプラス・ソサエティ (PPS) の表彰

木下基司様

ポリオプラスへの皆様の献身的なご寄付と毎年の寛大なご寄付は、ポリオの世界的撲滅に向けた具体的な支援となり、世界理解、親善、平和の促進につながります。ポリオプラス・ソサエティピンと登録証をお渡しします。

※ポリオプラス・ソサエティとは

ロータリー財団のポリオプラス基金に毎年、年間100米ドルもしくは100米ドル以上寄付することを約束して頂いた会員を登録する制度です。

3. 国際ロータリー第2520地区 令和7年大船渡大規模山林火災対策本部として、同地区の佐藤ガバナーより「大船渡大規模山林火災被害」の支援依頼がありました。支援依頼文を紹介いたします。

「この火災により住民1人が犠牲になり、約2,400人もの地域住民が長く不安な避難生活を余儀なくされました。発生から12日目の3月9日ようやく鎮圧宣言が出され、避難指示も順次解除されましたが焼失や停電により再稼働できない海産物加工工場をはじめ、インフラ復旧にはなお時間を要すると推測されます。

東日本大震災発災から14年が経過しますが、津波被害に遭い高台に移転した新居を今回の火災で失った住民もおられます。今なお再燃防止のための確認作業が消防関係者によって続けられていますが、火災で住居を失った方々の心身的なショックは計り知れないものがあります。火災は収束したとはいえ、避難生活はこれからも続くことになり、日常を取り戻すにはさらに長い時間を要することになります。

このような状況を受け、第2520地区では2月28

日、地区の基金の中から100万円を拠出し、大船渡、大船渡西ロータリークラブを通じて現地へ送金いたしました。炊き出し費用にあてるなど、直面する喫緊の支援策に活用していただきました。さらに地区内のクラブに物資と義援金の支援について協力を依頼し、多くのクラブから寄付をお寄せいただいております。

この支援の輪をさらに広げるため、全国のロータリークラブの皆さまにも募金をお願いしたいと存じます。現在、物品は充足しておりますので多様な使途に活用できる支援金でのご協力を賜りますようお願い申し上げます。」

募金箱を回しますので皆様のご協力をお願いいたします。

※3月17日の例会で29,000円の募金が集まりました。

各委員会報告

●高木社会奉仕副委員長

「献血活動のご案内」

先ほど会長からお話ありましたが、3月27日(木)は献血活動2回目です。場所は協力を頂いていますビケンテクノさんの駐車場です。一人でも多くの方のご協力をよろしくお願い致します。

「クリーンデーのご案内」

4月1日(火)は今年1回目のクリーンデーです。こちらもお参加をお願い致します。

出席報告 出席委員会 佐藤委員長

- 会 員 数 40名 出席会員数 31名
- 来 客 1名 本日の出席率 86.11%
- 3月3日の出席率(メーキャップ含む) 100%

ニコニコ箱 瀬川副SAA

本日は6名の方からご協力をいただきました。枚本会員、清水(大)会員、坂口会員、阿部会員、瀬川会員、高木会員です。ありがとうございました。

本日のニコニコ箱	18,000円
累計のニコニコ箱	1,670,850円
累計のニコニコB	27,000円



パリ2024パラリンピック 金メダルへの道
パリパラリンピック 男子柔道73kg級
金メダリスト 瀬戸 勇次郎 様
(紙谷 幸弘会長ゲスト)

皆さん、こんばんは。まず、自己紹介をさせていただきます。福岡県生まれで、現在25歳になります。九星飲料工業株式会社と筑波大学大学院にも籍を置いています。そして生まれつき視覚障害がありまして、そちらの見え方を少し説明させていただきます。視力は0.05で視神経に障害があるため、眼鏡等では矯正が出来ません。中心部分に視野欠損があり、周りもぼやけて見えるようになっています。(※映像で瀬戸様の視野を再現)

次に視覚障害者柔道についてご説明させていただきます。文字通り視覚障がいのある人が行う柔道で、

- ・互いに組み合って始める。
- ・両者が完全に離れたら「待て」組み直して再開。
- ・審判が選手を誘導、声で判定を報せる。

晴眼者（せいがんしゃ＝目の見える方）の柔道と大きなルールの違いは一点のみ、組み合って始めることです。

細かい所では、再開時に審判が選手を中央へ誘導する、判定は声で伝えるなどがあります。

次に私の柔道歴を説明いたします。4歳で柔道を始めて、17歳、高校3年生のときに、視覚障害者柔道を始めました。それから

- ・2018年 全日本視覚障害者柔道大会 初優勝
 - ・2021年 東京2020パラリンピック 銅メダル
 - ・2023年 アジアパラ競技大会 3位
 - ・2024年 パリ2024パラリンピック 金メダル
- 皆様、応援本当にありがとうございました。

東京からパリにかけての3年間についてお話させていただきます。

2022年にクラス分けの制度が変わりまして、それまでは全盲の選手と弱視の選手が同じ階級で戦っていましたが、分けることになり、階級が半分になりました。

た。私が所属していた66kg級のクラスが廃止されまして、73kg級に移ることになりました。階級を上げると対戦相手は大きくなり、力も強く、戦い方が変わります。3年間で調整しなければならず、一時絶望しました。

そんな階級を上げた2022年の世界選手権は初戦敗退。オリンピック出場には黄色信号がとまりました。他の大会では優秀でしたが、世界大会はオリンピック出場の最大のポイントです。2023年の世界大会では優勝、最悪でも表彰台に上るにつもりで出場しましたが、またしても初戦敗退。

やっぱりまだ、新しい階級ではパワーで負けてしまうところがありました。

敗者復活戦に回りましたが、私の苦手な選手でギオルギ・カルダニ氏というジョージア出身の選手がいます。彼とは組み手が逆で、足払いと肩車が得意にしており、私が勝てていない相手でした。この選手にまた、負けてしまい、いよいよまずい状態に追い込まれて、“改革”に取り組みました。

- ・試合に臨む考え方を転換

当時東京の成功体験があって、私は試合で100%力を出せば、勝てると思っていました。ただ試合では、必ずしも100%の力が出せるわけじゃない、60、70%の状態でも勝てる体力、技を身に着けるようにしました。

- ・日常の稽古を筋力トレーニング中心に

それまでは柔道を中心に稽古して筋力をつける、柔道で使う筋力は柔道でと考えていましたが、ウエイトトレーニングを半分とり入れるようにしました。

- ・柔道に対する考えを改革

それまで柔道を生活の中心に置きたくはなかった、何をするにしても、1つのことに10割というのは、私の信条に適合しない部分がありましたが、この1年は柔道に専念すると決めました。

- ・柔道やトレーニングへの取り組み方を転換

ウエイトトレーニングを取り入れると体がもたない、これを1年間継続することが大切なんだというふ

うに、自分の考え方を切り換えまして、今日、明日も頑張れるような考え方をするようにしました。

2023年グランプリ東京大会に背水の陣で臨みまして、トレーニングの効果もあり準決勝まで進みましたが、ここでまた、ギオルギ・カルダニ選手にあたりましたが、背負い投げで一本勝ちをしました。

そこから流れが変わり、その後4大会で3度の優勝、世界ランキングも1位になり、パリパラリンピックに出場する事が出来ました。

パラリンピックでは、今までで一番いい状態作り上げることができまして、対戦の組み合わせも有利な状態で臨む事が出来ました。※試合のVTRを上映

決勝でまた、ギオルギ・カルダニ選手とあたりましたが、技あり2本で勝つことが出来ました。試合後すぐは思いのほか冷静でいましたが、表彰式で金メダルを受け取った時は感情がこみ上げてきました。家族と会社、同級生も応援に来てくれて3年間の目標が達成出来ました。

今後ですが、4月から福岡で教員として、就職する予定です。実は明日配属がきまります。高校の体育教師を希望しています。

柔道の方は、次のパラリンピックはまだ大分遠いところにあるような気がして、教員という仕事は責任が伴いますので。とりあえずやるとしたならば、来年の秋、アジア大会を目指していきたいと考えています。

そして、ライフワークとして視覚障害者柔道の普及をしていきたいと考えています。これからも目標を立てて、一步一步進んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。



堀音楽委員長の指揮で歌のお時間です。



木下会員、ポリオプラス・ソサエティの表彰。



パリパラ金メダリスト瀬戸様、卓話ありがとうございました。

私の座右の銘 28

西村会員

「Dream Come True」

「夢叶う」と願い続ければ、運命はやさしく応えてくれると信じています。